平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画　第5章第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成24年度事業費　300千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て
事業の成果	宇陀市における農地の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		300
一般財源		
H24予算額	A	300
H23当初予算額	B	450
H23現計予算額		450
増減額	A－B	▲ 150

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)		平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額 (千円)					
従事職員数【人工】					
人件費 (人工×8,000千円)					
総事業費:人件費含む (千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績		単位		単位	戸
単位当たりコスト　(円)					

特定財源の状況
宇陀市農業支援基金繰入金 300千円

事業の目標	農地の排水を整備し、農産物の生産を拡大する

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1) 宇陀市農業支援基金事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市新設雨除ハウス設置事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画　第5章　第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 H24事業費　2,000千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て
事業の成果	H23申請者7名 申請面積4031㎡

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,000
一般財源		
H24予算額	A	2,000
H23当初予算額	B	1,500
H23現計予算額		1,500
増減額	A－B	500

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		1,500
従事職員数【人工】		0.02
人件費(人工×8,000千円)		160
総事業費:人件費含む(千円)		1,660
活動指標名	申請面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	4,031 単位 ㎡
単位当たりコスト　(円)		412

特定財源の状況

宇陀市農業支援基金繰入金
2,000千円

事業の目標	雨除けハウスを活用し、施設園芸の利用維持を図る

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1) 宇陀市農業支援基金事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自然災害発生に伴う重機借上げ助成事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画　第5章第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成24年度事業費　600千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て
事業の成果	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		600
一般財源		
H24予算額	A	600
H23当初予算額	B	510
H23現計予算額		510
増減額	A－B	90

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		960
従事職員数【人工】		0.02
人件費(人工×8,000千円)		160
総事業費:人件費含む(千円)		1,120
活動指標名	受益戸数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	100 単位 戸
単位当たりコスト　(円)		11,200

特定財源の状況

宇陀市農業支援基金繰入金
600千円

事業の目標	農地、農業用施設に対する維持管理

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1) 宇陀市農業支援基金事業

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設設置を行う経費につき助成を行う。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節（3）　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	設置費用の300円／m以内　天井付き囲み柵については、300円／㎡以内を助成する
事業の成果	本事業を利用し、毎年10km以上の防護柵が整備され、鳥獣被害の防止に効果がある。 H21：53件／13km　H22：58件／17km

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,500
一般財源		1,500
H24予算額	A	3,000
H23当初予算額	B	3,000
H23現計予算額		3,000
増減額	A－B	0

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	2,295			3,000		
従事職員数【人工】	0.20			0.20		
人件費（人工×8,000千円）	1,600			1,600		
総事業費：人件費含む（千円）	3,895			4,600		
活動指標名	設置延長					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	17.0	単位	km	22.9	単位	km
単位当たりコスト　（円）	229,118			200,873		

特定財源の状況

宇陀市ふるさと水と土保全基金繰入金 1,500 千円

事業の目標	農林産物等への被害防止

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林産物品評会

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	農林産物の生産性及び品質の向上により、農林家の営農意欲の増進を図る。 また、幅広く消費者に宇陀市の農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓発することで、地域農林業の発展を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領
総合計画	基本計画　第5章　第1節　(3)農業経営・生産体制の強化　(4)付加価値の高い農産物づくりの推進

H24年度事業の概要	農林家より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施する。 また、出品された農林産物については、審査をおこない、優秀な農林産物の生産者に対し、表彰を行う。 市内農林業団体の協力により、展示・模擬店などを催す。
事業の成果	平成21年度は、宇陀市内の農林家より192点の出品があり、奈良県知事賞など27名が受賞。 市内農林家が生産した農林産物の啓発(新鮮・安心・安全)などを図ることができた。

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		196
H24予算額	A	196
H23当初予算額	B	221
H23現計予算額		221
増減額	A－B	▲ 25

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	39			93		
従事職員数【人工】	0.10			0.30		
人件費(人工×8,000千円)	800			2,400		
総事業費:人件費含む(千円)	839			2,493		
活動指標名	農家戸数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	2,407	単位	件	2,407	単位	件
単位当たりコスト (円)	349			1,036		

特定財源の状況

事業の目標	品評会を通して、農林家のより一層の営農意欲と生産性・品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRを行う。

備考	平成22年度は、台風のため中止 ＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	農業振興整備計画

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	農業振興地域整備計画は、現在、合併以前の旧町村の農業振興地域整備計画に基づき進めておりましたが、奈良県において平成22年12月・農業振興地域整備基本方針の見直しが行われ、見直しに基づき宇陀市の農業振興を図るために必要な事項を定め、地域の施策を計画的に推進し、農業の健全な発展を図ることを目的として宇陀市全域を対象として計画するものであります。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	農業振興地域の整備に関する法律第8条
総合計画	基本計画　第5章第1節

H24年度事業の概要	法において、農用地利用計画・農業生産の基盤の整備、開発に関する事項・農用地の保全に関する事項、他を定めるにあたり、基礎資料の作成、農家の意向調査等アンケート調査の実施したうえで整備計画を作成
事業の成果	集団的に農地を将来にわたり優良農地として農業上の利用を確保できることにより、生産の現場が安心して農業を営むことや、生産物の品質向上に取組めるとともに、農地の生産性の向上に向けた各種投資がスムーズに進めることができる。

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		5,800
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		578
H24予算額	A	6,378
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	6,378

事業のコスト	平成22年度(実績)		平成23年度(見込)	
決算額又は決算見込額(千円)				
従事職員数【人工】				
人件費(人工×8,000千円)				
総事業費:人件費含む(千円)				
活動指標名				
活動指標の算式				
活動指標の実績		単位		単位
単位当たりコスト　(円)				

特定財源の状況
合併市町村補助金　5,800千円

事業の目標	平成24年度計画を策定

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等の経費について補助する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	2	数量調整円滑化推進事業費

根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	米政策改革推進対策を推進するため、事業に要する経費について補助金を交付。
事業の成果	農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費 30,000円 生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費 80,000円 水稲生産実施計画書の作成等に要する経費 445,000円 米の生産調整実施者の確認に要する経費 200,000円 合計 755,000円

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		1,092
市　債		
その他		
一般財源		1
H24予算額	A	1,093
H23当初予算額	B	1,093
H23現計予算額		1,093
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	853			755		
従事職員数【人工】	0.30			0.30		
人件費(人工×8,000千円)	2,400			2,400		
総事業費:人件費含む(千円)	3,253			3,155		
活動指標名	農家戸数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	2,407.0	単位	戸	2,407	単位	戸
単位当たりコスト　(円)	1,351			1,311		

特定財源の状況

数量調整円滑化推進事業補助金
1,092千円

事業の目標	米政策改革を推進するため、宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施する事により水田農業の構造改革を促進する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域直接支払事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

河川の上流地域に位置し、傾斜地が多い等の立地特性から農業生産活動等を通じ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮されている。しかし、高齢化が進行するなか、平地地域と比べて農業生産条件が不利な地域があることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等によって、多面的機能の低下が懸念されている。

このため、農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、当該農業生産活動等を行う農業者に対し、直接支払いを実施する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	4	中山間地域直接支払事業費

根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節　(3)農業経営・生産体制強化

H24年度事業の概要

実施期間　平成22年度～平成26年度
交付対象集落　41集落
交付対象面積　2，502，370㎡
事業費　43，481千円

事業の成果

耕作放棄地の防止等による多面的機能の維持・向上を行った。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		32,326
市　債		
その他		
一般財源		11,155
H24予算額	A	43,481
H23当初予算額	B	43,505
H23現計予算額		43,505
増減額	A－B	▲ 24

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	43,505			43,481		
従事職員数【人工】	0.40			0.40		
人件費(人工×8,000千円)	3,200			3,200		
総事業費:人件費含む(千円)	46,705			46,681		
活動指標名	集落数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	41.0	単位	集落	41	単位	集落
単位当たりコスト　(円)	1,139,146			1,138,561		

特定財源の状況

中山間地域等直接支払交付金
32,326千円

事業の目標

耕作放棄地の発生の防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年間以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。

備考

<予算案のポイント>
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業者戸別所得補償推進事業費

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	農業戸別所得補償制度において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務について行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	6	戸別所得補償制度導入推進事業

根拠条例等	奈良県戸別所得補償制度導入推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	農業者戸別所得補償制度の実施に必要となる推進活動のうち、市が行う現場における推進活動や要件確認等に必要となる経費を国から助成。
事業の成果	H22年度実績 賃金　312,980円 報償費　906,130円 人件費　200,000円 需要費　659,061円 役務費　255,643円 備品費　165,532円 負担金　36,000円 合計　2,535,346円

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		5,406
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	5,406
H23当初予算額	B	5,406
H23現計予算額		5,406
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	2,535			2,000		
従事職員数【人工】	0.30			0.30		
人件費(人工×8,000千円)	2,400			2,400		
総事業費:人件費含む(千円)	4,935			4,400		
活動指標名	農家戸数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	2,407	単位	戸	2,407	単位	戸
単位当たりコスト　(円)	2,050			1,828		

特定財源の状況

農業戸別所得補償制度導入推進事業補助金　5,406千円

事業の目標	農業者戸別所得補償制度の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続を支援し、奈良地域センター等へ情報を提供する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・水保全管理支払交付金事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	農地・農業用水等の資源は、食料の安定供給や農業の多面的機能は、過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、その適切な保全管理が困難となってきている。このような状況に対応するため、地域の農業者だけでなく、地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参画を得て、これらの資源の適切な保全管理を行うと共に農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進する必要があり、これらの資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみでの効果の高い活動へ支援する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	9	農地・水保全管理支払交付金事業

根拠条例等	農地・水・環境保全向上対策実施要綱 平成21年3月13日付け20農振第1942号
総合計画	

H24年度事業の概要	共同活動 大宇陀… 8組織、交付金6,150,720円(内市負担1,539千円) 菟田野… 1組織、交付金344,840円(内負担87千円) 榛　原… 8組織、交付金5,575,280円(内市負担1,388千円) 室　生… 7組織、交付金4,299,440円(内市負担1,075千円) 計…24組織、交付金16,344,240円 (内市負担4,089千円)
事業の成果	共同活動(集落の草刈り、道路・水路の補修、農業施設の維持管理) 大宇陀区…8組織、交付金 6,150,720円(内宇陀市負担1,537,680円) 菟田野区…1組織、交付金 344,840円(内宇陀市負担86,210円) 榛原区…8組織、交付金 5,549,240円(内宇陀市負担1,387,310円) 室生区…7組織、交付金 4,299,440円(内宇陀市負担1,074,860円) 合　計 …24組織、交付金16,344,240円(内宇陀市負担4,086,060円)

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		140
市　債		
その他		
一般財源		4,089
H24予算額	A	4,229
H23当初予算額	B	4,843
H23現計予算額		4,843
増減額	A－B	▲ 614

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	4,706			4,777		
従事職員数【人工】	0.40			0.40		
人件費(人工×8,000千円)	3,200			3,200		
総事業費:人件費含む(千円)	7,906			7,977		
活動指標名	地区数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	24.0	単位	集落	24	単位	集落
単位当たりコスト (円)	329,417			332,375		

特定財源の状況

農地・水・環境保全向上対策事業費 140千円

事業の目標	本対策に取り組むことにより、地域ぐるみで効果の高い共同活動及び農業者ぐるみでの先進的な営農活動の実施主体として、社会共通資本としての農地・農業用水等の資源を農村環境の保全等にも役立つよう、地域の振興に資するものとする。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水と農地活用促進(農業基盤整備)事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	国庫補助土地改良事業の対象とならない小規模な施設を対象とする、遊休農地の発生防止、活用等のための営農条件整備。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	89	水と農地活用促進事業費

根拠条例等	「土地改良法第96条の2」(土地改良事業の開始)
総合計画	基本計画　第5章第1節　(1)農業生産基盤の整備

H24年度事業の概要	宇陀市室生三本松地区 農道ナルミ線 舗装工　L=150m, 用排水路工L=9m 受益面積　4.0ha 受益戸数　25戸
事業の成果	事業で整備することにより、農地の利用集積ができる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		3,000
市　債		3,000
その他		50
一般財源		101
H24予算額	A	6,151
H23当初予算額	B	17,550
H23現計予算額		17,550
増減額	A−B	▲ 11,399

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		17,400
従事職員数【人工】		0.20
人件費(人工×8,000千円)		1,600
総事業費:人件費含む(千円)		19,000
活動指標名	受益戸数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	61 単位 戸
単位当たりコスト　(円)		311,475

特定財源の状況

・水と農地活用促進事業県補助金 3,000千円
・過疎債(室生)　3,000千円
・土地改良施設維持管理適正化事業
　分担金　50千円

事業の目標	農地が効率的に作付けできると共に、生産性の向上をはかる。

備考	農道ナルミ線は一定要件農道 ＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	新規就農者確保事業

所管課	農林課	(農林商工部)
事業の目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間(2年以内)及び経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する給付金を交付する。	

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	91	新規就農者確保事業

根拠条例等	
総合計画	農業の担い手の育成・確保

H24年度事業の概要	新規就農者　9人×1,500,000円(0.5ha以下)＝13,500,000円
事業の成果	

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		13,500
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	13,500
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	13,500

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

青年就農給付金　13,500千円

事業の目標	青年の就農意欲の喚起と就農定着

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地籍調査事業（新規着手分）

所管課	地籍調査課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市を区域とする民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	5	地籍調査費
細目	1	本庁地籍調査費

根拠条例等	国土調査法第6条の4 （事業計画の実施等）
総合計画	基本計画 第3章 第1節 （1）良好な住環境の形成 地籍の明確化

H24年度事業の概要

平成24年度 地籍調査実施地区			
榛原檜牧 第2期地区			
	実施面積	0．97 ㎢	
	筆数	324 筆	

測量等業務委託料	23,460
機械器具使用料	1,018
消耗品費等	859
推進委員手当	195
合 計	25,532

《檜牧地区全体計画》

平成23年度	第1期地区	0．71㎢
平成24年度	第2期地区	0．97㎢
平成25年度	第3期地区	0．62㎢
平成26年度	第4期地区	0．74㎢
全体面積		3．04㎢

事業の成果

国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手し、現在調査の完了した地区及び調査中の地区数及び面積は、65地区、50．27㎢、進捗率は約22%である。

調査の完了地区では、この事業を実施したことにより土地が保全され①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進 等の効果が得られることになる。

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		18,852
市 債		
その他		
一般財源		6,680
H24予算額	A	25,532
H23当初予算額	B	23,591
H23現計予算額		23,591
増減額	A－B	1,941

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		14,539
従事職員数【人工】		1.55
人件費（人工×8,000千円）		12,400
総事業費：人件費含む（千円）		26,939
活動指標名	実施面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	0.71 単位 ㎢
単位当たりコスト （円）		37,942,254

特定財源の状況

地籍調査事業費負担金 18,852千円

事業の目標

地籍調査未実施地区182㎢の早期完遂

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(4) 地籍調査の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道整備事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営で実施。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費

根拠条例等	土地改良法第91条第6項
総合計画	基本計画　第3章第2節　(3)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要	県事業費　32,000千円 用地測量・詳細設計業務・用地補償 負担割合　国50%　:　県35%　:　市15%
事業の成果	中山間地域の農林業の生産力の向上、利便性の向上を図り、地域住民等の生活の安定を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		4,800
その他		
一般財源		
H24予算額	A	4,800
H23当初予算額	B	1,500
H23現計予算額		1,500
増減額	A－B	3,300

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	1,575			1,000		
従事職員数【人工】	0.02			0.02		
人件費(人工×8,000千円)	160			160		
総事業費:人件費含む(千円)	1,735			1,160		
活動指標名	受益面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	203.0	単位	ha	203.0	単位	ha
単位当たりコスト　(円)	8,547			5,714		

特定財源の状況

過疎債　4,800千円

事業の目標	農業経営の合理化、農業生産力の向上や生活環境の利便性の向上。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1) 効果的な道路改良と補修の実施

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	鳥獣被害対策実施隊員報酬

所管課	農林課	(農林商工部)

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

事業の目的	捕獲等を適正かつ効果的に行うことができる者を任命し、捕獲による鳥獣被害の防止を図る。
根拠条例等	宇陀市鳥獣被害対策実施隊員に関する要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　(3)農業経営・生産体制の強化
H24年度事業の概要	宇陀市の特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 平成24年度　40,000円×16名＝640,000円 (大宇陀・菟田野・榛原・室生の4地域から各4名づつ)
事業の成果	実施隊委員任命により、捕獲頭数の増加に繋がった。 H21年度:　イノシシ　103頭、シカ　123頭 H22年度:　イノシシ　272頭、シカ　136頭 H23年度:　イノシシ　48頭、シカ　57頭

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		640
H24予算額	A	640
H23当初予算額	B	640
H23現計予算額		640
増減額	A－B	0

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	640			640		
従事職員数【人工】	0.20			0.20		
人件費(人工×8,000千円)	1,600			1,600		
総事業費:人件費含む(千円)	2,240			2,240		
活動指標名	隊員数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	17	単位	人	17	単位	人
単位当たりコスト　(円)	131,765			131,765		

特定財源の状況

事業の目標	効果的な捕獲により、鳥獣被害の軽減を図る。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会がが事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
総合計画	基本計画　第5章第1節（3）　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	ソフト事業（補助率：1／2　事業費440万）　ニホンザル群の個体数及び群構成の調査　モンキードッグ育成　追払いグッズの配布　獣肉利用の推進　不要果樹伐採等　ハード事業（補助率：定額　事業費800万）　防除柵設置
事業の成果	モンキードッグ育成：7頭　名張B群：53頭の把握　アライグマ捕獲檻65基の導入

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,100
H24予算額	A	1,100
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,100

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）		平成23年度（見込）	
決算額又は決算見込額（千円）				
従事職員数【人工】				
人件費（人工×8,000千円）				
総事業費：人件費含む（千円）				
活動指標名				
活動指標の算式				
活動指標の実績		単位		単位
単位当たりコスト　（円）				

特定財源の状況

事業の目標	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市産木材利用促進事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的	市民が市内業者により市内で生産された木材を使用した住宅工事を行うことにより、市民の住宅の安全性、耐久性、及び居住性の向上を図り、市民が安心して住み続けられる住まいづくりを進めることにより定住環境の向上に資するとともに、木材需要の大部分を占める住宅工事における市内木材の利用を拡大し、市内の木材・住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市産木材利用促進事業補助金交付要綱（制定予定）
総合計画	基本計画　第3章第1節（1）　第5章第1節（6）　第5章第2節（1）

H24年度事業の概要	宇陀市産木材購入費の1／2まで、上限100，000円を補助する。 住宅新築による構造材の補助　2件×100，000円 住宅新築による内装材の補助　2件×100，000円 住宅リフォームによる内装材の補助　6件×100，000円 構造材補助と内装材補助は併用可能とし、その場合は上限20万円とする。 合　計10件1，000，000円
事業の成果	輸入材と国産材の乖離した価格差により低迷した市内木材需要を、木材需要の大部分を占める住宅工事費を補助することにより、その需要を掘り起こし、市内林業の活性化に繋げる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,000
H24予算額	A	1,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

事業の目標	構造材として宇陀市産木材の使用量　10㎥×2件＝20㎥ 内装材として宇陀市産木材の使用量　40㎡×8件＝320㎡

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［宇陀市の地域経済活性化］ (3) 宇陀市産木材利用促進助成制度

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除ライセンス取得補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	狩猟免許取得により捕獲技術を持つ人物を各地域で育成し、地域ぐるみで効率的迅速な捕獲体制を講じることにより、個体数調整による農地の遊休荒廃化を防止する

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除ライセンス取得事業助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	狩猟免許新規取得のための経費の一部助成 10,000円／人 平成23年度見込み　27人×10,000円＝270千円
事業の成果	新規取得者増加により地域での捕獲体制が整いつつある H21:11人 H22:　7人 H23:27人

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		660
一般財源		
H24予算額	A	660
H23当初予算額	B	660
H23現計予算額		660
増減額	A－B	0

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	70			270		
従事職員数【人工】	0.10			0.10		
人件費(人工×8,000千円)	800			800		
総事業費:人件費含む(千円)	870			1,070		
活動指標名	取得者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	7	単位	人	27	単位	人
単位当たりコスト　(円)	124,286			39,630		

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立分)　660千円

事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	有害鳥獣駆除個体処分事業委託料

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	イノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	イノシシ・シカ等の大型獣を衛生的に処理するため、室生動物霊園と火葬の単価契約を締結し処分する。
事業の成果	環境、衛生上の軽減

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,350
H24予算額	A	1,350
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		1,350
増減額	A－B	1,350

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		470
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		1,270
活動指標名	処理頭数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	17 単位 頭
単位当たりコスト　(円)		74,706

特定財源の状況

事業の目標	イノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣駆除事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害を防止するため、有害鳥獣を捕獲する

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣駆除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	イノシシ　158頭×3,000円＝474千円 オスシカ　65頭×5,000円＝325千円 メスシカ　60頭×9,000円＝540千円(7月～3月) メスシカ　40頭×12,000円＝480千円(4月～6月) サル　3頭×20,000円＝60千円 ニホンジカ集中捕獲事業 銃砲所持者を10名前後を同一地区に投入 4回×100，000円／回＝400千円
事業の成果	有害鳥獣を捕獲したことにより、農林産物等への被害軽減が図られた H21捕獲頭数:イノシシ158頭　シカ165頭　サル1頭 H22捕獲頭数:イノシシ413頭　シカ193頭 H23捕獲頭数:イノシシ　81頭　シカ137頭　サル1頭

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		920
市　債		
その他		
一般財源		1,359
H24予算額	A	2,279
H23当初予算額	B	1,559
H23現計予算額		1,559
増減額	A－B	720

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,378	1,559
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000
総事業費:人件費含む(千円)	10,378	9,559
活動指標名	駆除頭数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	606 単位 頭	390 単位 頭
単位当たりコスト　(円)	17,125	24,510

特定財源の状況
ニホンジカ特定鳥獣捕獲管理計画推進事業補助金　920千円

事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	有害鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合に対し補助金を交付する。奈良県市町村振興臨時交付金を「地域づくり推進基金」として積み立て年次事業事業を行う。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	事業主体:自治会及び農家組合 補助要件:新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3人以上でわなを管理する。 補助金額:1地区40,000円以内、次年度以降は、20,000円ずつ減額　　17地区×40,000円=680,000円　10地区×20,000円=200,000円　　事業年度:平成22年～平成26年
事業の成果	地域ぐるみで捕獲体制の整備が図られた。 H22:新規5地区 H23:新規5地区　継続5地区

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		880
一般財源		
H24予算額	A	880
H23当初予算額	B	880
H23現計予算額		880
増減額	A－B	0

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	200			660		
従事職員数【人工】	0.10			0.10		
人件費(人工×8,000千円)	800			800		
総事業費:人件費含む(千円)	1,000			1,460		
活動指標名	地区数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	5.0	単位	地区	10	単位	地区
単位当たりコスト　(円)	200,000			146,000		

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立分) 880千円

事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	猟友会補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図るため、宇陀市猟友会の運営経費について補助する

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市猟友会補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節　(5)林業の担い手の育成・確保

H24年度事業の概要	農林業被害低減のため、有害鳥獣捕獲を実施する
事業の成果	有害鳥獣捕獲数 H22:イノシシ380頭　シカ215頭 H23:イノシシ　45頭　シカ137頭

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		66
H24予算額	A	66
H23当初予算額	B	66
H23現計予算額		66
増減額	A－B	0

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	66			66		
従事職員数【人工】	0.02			0.02		
人件費(人工×8,000千円)	160			160		
総事業費:人件費含む(千円)	226			226		
活動指標名	会員数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	89.0	単位	人	94	単位	人
単位当たりコスト　(円)	2,539			2,404		

特定財源の状況

事業の目標	農林業被害低減のため、有害鳥獣捕獲を実施する

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県単有害鳥獣駆除事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、捕獲依頼をする猟友会の出動経費について補助する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	猟銃による捕獲経費への補助 負担割合　猟友会　1／3　　市　1／3　　県　1／3
事業の成果	猟銃捕獲による農林産物の被害を軽減 H22:出動回数27回　延べ人数148人 H23:出動回数44回　延べ人数180人

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		200
市　債		
その他		
一般財源		200
H24予算額	A	400
H23当初予算額	B	1,090
H23現計予算額		1,090
増減額	A－B	▲ 690

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	216			693		
従事職員数【人工】	0.10			0.10		
人件費(人工×8,000千円)	800			800		
総事業費:人件費含む(千円)	1,016			1,493		
活動指標名	出動人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	148.0	単位	人	180	単位	人
単位当たりコスト　(円)	6,865			8,294		

特定財源の状況

有害鳥獣補助金　200千円

事業の目標	捕獲による農林産物の被害軽減を図る

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐等促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取組(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業等　例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱
総合計画	第5章　第1節　(5)林業の担い手の育成確保　(6)林産物の加工販売、流通の促進　(7)森林の多面的利用の促進

H24年度事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1／2を補助する。 市では、宇陀市森林組合と室生村森林組合が森林所有者の代理となって交付申請行っている。 全体事業費　29,062千円 うち県費　14,532千円 所有者負担　14,531千円 事業概要　間伐　A＝104ha 作業道開設　L＝2，000m
事業の成果	奈良県実施の造林事業では対象とならない高齢級林(60年生以上)についても間伐等事業の対象となるため、市内山林の間伐等を行うことにより、森林のもつ多面的機能の維持増進を図ることができる。 H23年度実績 間伐　A=16.24ha

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		14,532
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	14,532
H23当初予算額	B	18,662
H23現計予算額		18,662
増減額	A－B	▲ 4,130

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,081
従事職員数【人工】		0.40
人件費(人工×8,000千円)		3,200
総事業費:人件費含む(千円)		5,281
活動指標名	間伐実施面積等	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	16　単位 ha
単位当たりコスト　(円)		325,185

特定財源の状況

美しい森林づくり基盤整備交付金
14,532千円

事業の目標	地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	適時適切な森林施業が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林施業計画の作成通じた森林整備の推進を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	4	森林整備地域活動支援事業費

根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱
総合計画	第5章 第1節 (5)林業の担い手の育成 (6)林産物の加工販売、流通の促進 (7)森林の多面的利用の促進

H24年度事業の概要	森林施業計画の認定を受けた森林所有者(団地)の代表と市との間で協定を締結し、対象となる森林面積のうちの積算基礎森林面積(45年生以下の人工林)1haあたり4,000円を交付。 団地数　20団地 積算基礎森林面積　6,499ha 交付対象となる行為　作業道の整備・補修
事業の成果	各団地とも交付金を有効的に活用し、施業実施区域の作業道整備(改良補修活動)を行い、適切な森林整備を実施している。

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国費		
県費		19,847
市債		
その他		
一般財源		6,850
H24予算額	A	26,697
H23当初予算額	B	33,201
H23現計予算額		33,201
増減額	A－B	▲ 6,504

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	30,926			33,201		
従事職員数【人工】	0.40			0.40		
人件費(人工×8,000千円)	3,200			3,200		
総事業費:人件費含む(千円)	34,126			36,401		
活動指標名	森林面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	6,499.0	単位	ha	6,499	単位	ha
単位当たりコスト (円)	5,251			5,601		

特定財源の状況

森林整備地域活動支援交付金
19,497千円

市町村推進事務費　350千円

事業の目標	森林所有者等による適時適切な施業実施を確保するため、その実施に不可欠な作業道整備等の地域活動を支援する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	樹種転換推進事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

県単事業である地域で育む里山づくり事業においては、針葉樹が補助対象にならず、 戦後に植林されたスギ･ヒノキによる、人家周辺の荒廃した里山林の整備が放置されている。当該県単事業要綱においては、ボランティア団体が里山を整備した場合に補助することになっているが、10人以下の団体には機材補助がなく、5人以下の団体には活動費補助がないため、県単事業では拾うことができない、スギ･ヒノキの里山林整備や、少人数の整備活動について、一般財源により補助する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	10	樹種転換推進事業

根拠条例等	宇陀市樹種転換推進事業補助金交付要綱（制定予定）
総合計画	基本計画　第1章第1節（1）　第3章第1節（1）　第3章第5節（2）　第5章第1節（7）

H24年度事業の概要

人家から50m程度までのスギ･ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、広葉樹林に転換を行った場合、10アールを最低単位として、その費用を補助する。
スギ･ヒノキ伐採補助：10aあたり30，000円（皆伐）
広葉樹苗木調達補助：10aあたり50，000円以下（500円×100本）
初期機材等配備補助：200，000円

事業の成果

土砂崩壊災害の防止、環境保全林･景観保全林や水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている機能回復、スギ･ヒノキ花粉飛散量の低減をも目指す。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		200
H24予算額	A	200
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	200

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

事業の目標

平成24年度では、荒廃した針葉樹里山林について、10a×10箇所＝1haの広葉樹里山林へと樹種転換を誘導する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(6) 土砂災害防止のための山林の樹種転換

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。 森林所有者の事業費負担なし(100%県費)

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費

根拠条例等	奈良県森林環境税条例
総合計画	基本計画　第5章第1節　(7)森林の多目的利用の促進

H24年度事業の概要	事業概要　間伐面積　A＝158ha 事業対象　①人家周辺の山地災害防止に資する区域 ②集落水源の集水区域 ③近畿・東海自然歩道沿いのバッファゾーン ④室生赤目青山国定公園区域 ⑤市が環境保全に重要と位置づける区域 事業内容　上記区域内で10年以上放置された人工林を対象に 40%以上の間伐を実施
事業の成果	平成18年度～22年度の5ヶ年で、市全体で570．02haを実施 間伐実施面積 H18年度　A＝93．40ha H19年度　A＝138．76ha H20年度　A＝148．93ha H21年度　A＝101．06ha H22年度　A＝90．53ha H23年度　A≒107．45ha

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		54,620
市　債		
その他		
一般財源		1
H24予算額	A	54,621
H23当初予算額	B	44,970
H23現計予算額		44,970
増減額	A－B	9,651

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	27,374			37,479		
従事職員数【人工】	0.40			0.40		
人件費(人工×8,000千円)	3,200			3,200		
総事業費:人件費含む(千円)	30,574			40,679		
活動指標名	間伐実施面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	90.5	単位	ha	107	単位	ha
単位当たりコスト　(円)	337,722			378,585		

特定財源の状況

施業放置林解消活動推進
事業委託金
54,620千円

事業の目標	奈良県森林環境税により実施している事業もH23年度から2期目(H23～27)に入り、今後も積極的に施業放置林の間伐を実施することで、市内山林の荒廃を阻止し森林の持つ健全な環境保全機能を回復させる。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県産材生産促進事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	森林の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材(間伐材)の搬出及び利用促進を図るため、宇陀市内の森林組合及び認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	86	県産材生産促進事業

根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱
総合計画	第5章 第1節 (5)林業の担い手の育成 (6)林産物の加工販売、流通の促進 (7)森林の多面的利用の促進

H24年度事業の概要	搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う事業体(森林組合・認定事業体)に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。 1m3あたり　県＝2,000円　市＝1,500円を補助 事業量　V＝1,750m3
事業の成果	未利用となっている間伐材の搬出及び利用促進を図ることができた。 H22年度　V＝980m3 H23年度　V≒2，351m3 ※宇陀市森林組合≒2,000m3 室生村森林組合≒351m3

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		3,500
市 債		
その他		
一般財源		2,625
H24予算額	A	6,125
H23当初予算額	B	8,229
H23現計予算額		8,229
増減額	A－B	▲ 2,104

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	3,430			8,229		
従事職員数【人工】	0.20			0.20		
人件費(人工×8,000千円)	1,600			1,600		
総事業費:人件費含む(千円)	5,030			9,829		
活動指標名	間伐材材積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	980.0	単位	㎥	2,351	単位	㎥
単位当たりコスト (円)	5,133			4,181		

特定財源の状況

県産材生産促進事業補助金 3,500 千円

事業の目標	未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図ることを目標とする。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他農林業予算